

10/6 3.30

# 代執行着手 「憂慮」

辺野古埋め立て 声明に賛同100人超

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、県の上告を棄却した最高裁判決を受け、国が辺野古の埋め立てを強制的に進める「代執行」に向けた手続きに着手したことを「憂慮する」とした行政法研究者有志の声明（9月27日発表）へ

の書面回答が9月28日で101人に達しました。直明呼びかけ人が国会、国会内で記者会見で明らかにしました。

私人の権利救済を目的とした行政不服審査制度を悪用し、県の訴えを門前払いしてきた國の手法に対し、行政法研究者に憂慮が広まっています。

最高裁判決は、軟弱地盤の存在など、県の提起した論点に対する実質審理を一切行なわ



記者会見する、声  
明呼びかけ人の行  
政法研究者たち  
5日、国会内

がっていなかったと示す  
ものです。

最高裁判決は、軟弱地盤の存在など、県の提起した論点に対する実質審理を一切行なわ

しまま、形式的な議論で県の訴えを却下します。声明は、「最高裁判決は『地方自治の本旨を理解しない不合理極まりないもの』と厳しく批判。その上で、『代執行』制度が存在する以上、県知事が最高裁判決に従わないことは『ただちに違法とはいえない』と指摘

した。声明は、「最高裁判決は『ただちに違法とはいえない』と指摘し、月内に始まる代執行訴訟で、玉城千二一知事は辺野古埋め立てに着手する」と述べました。

日本共産党の赤嶺政  
賢衆院議員は、辺野古新基地建設反対を貫いでいる「オール沖縄」

の国会議員が4人いることを示してからも強調し、引き続き新基地を絶対につくらせないため頑張りたいと語りました。

「憲法」性を主張する  
よう求めています。  
呼びかけ人の一人で  
ある岡田正則・稲田大  
学教授は、「國は普天  
間基地の危険性除去と  
書いていますが、そうで  
あるならあまやかに米軍  
に危険な運用を止める  
よう訴えるべきだ。辺

野古新基地をつくる  
ために10年、20年かけ  
て危険性をそのまま放  
置する」とが『公權』  
なのか」と批判しまし  
た。

野古新基地をつくる  
ために10年、20年かけ  
て危険性をそのまま放  
置する」とが『公權』  
なのか」と批判しまし  
た。

野古新基地をつくる  
ために10年、20年かけ  
て危険性をそのまま放  
置する」とが『公權』  
なのか」と批判しまし  
た。

野古新基地をつくる  
ために10年、20年かけ  
て危険性をそのまま放  
置する」とが『公權』  
なのか」と批判しまし  
た。